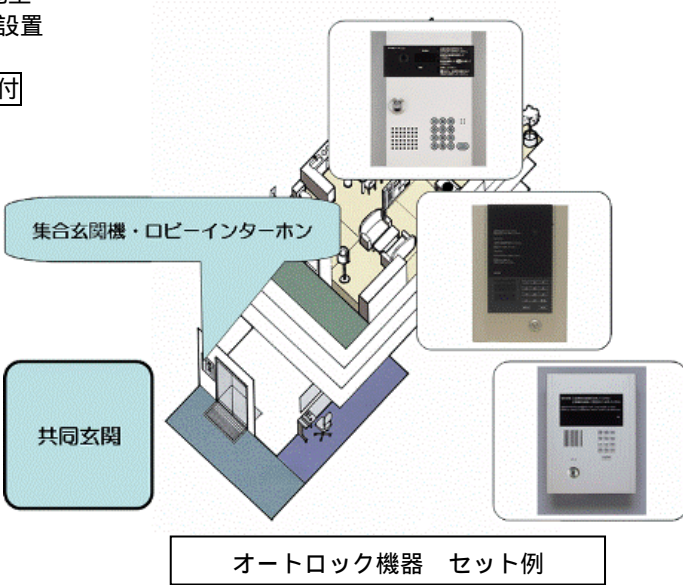


最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 15201103

性能分野	高齢者対応		
大分類	居住性の向上		
中分類	共用部分の居住性の向上/共用設備の改修		
技術の名称	オートロック改修		
改修技術の概要	<p>・オートロックシステム：インターホンと共用玄関の電子錠を連動させたシステム。住宅内からインターホンにより来訪者を確認して、共用玄関の電子錠を解錠し入館させることができる。</p> <p>・既存共同住宅にオートロックへの導入は、共用玄関に自動ドアを設置すると共に、共用玄関・各住戸を結ぶインターホンシステムについて、これを操作できるように改修する。併せて開放廊下等の共用玄関以外の住棟への出入り口についても、外部からの侵入を防ぐ門扉等を設置する。</p> <p style="text-align: center;">施工手順</p> <p style="text-align: center;">配線工事（一部 はつり工事など）</p> <p style="text-align: center;">オートロックゾーン施工 のための間仕切・建具設置</p> <p style="text-align: center;">オートロック機器据付</p> <p style="text-align: center;">各住戸の子機設置</p> <p style="text-align: center;">動作確認</p>  <p style="text-align: right;">（出典：（一社）リビングアメニティ協会）</p>		
共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	調査・診断技術 改修技術（劣化を補修する技術 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式（総プロA1）	エントランスホールがないため、適用がされるケースが少ない
		S55年以前供給 高層・ラーメン（総プロA2）	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給（総プロB）	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給（総プロC）	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給（総プロD）	使われる可能性が相当ある
（補足）エントランスホールを通じて各住戸へアプローチする共同住宅の場合			

常にセットで利用される技術		
技術が適用される建物の部位		共用部分 (躯体・外壁 屋根 建具 設備・配管等 その他共用部) 専有部分 (設備・配管 その他専有部分) [設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 () 注意すべき主な法令 ()]
団地で適用した場合のメリット		住棟まわりの土地が利用できること(仮設以外)() まとまった土地が利用できること(仮設以外)() 住宅の数が多く密度が高い() 特定の設備があること()
足場の設置が必要		必要 不要 ()
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	該当 非該当 ()
	一時的な影響が発生	断水などライフラインが一時的に利用不可 振動 騒音 粉塵 臭気 その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ()
	工事後に続く影響が発生	専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限() 日照・採光等への影響()
当該技術が利用される工事		計画修繕工事(劣化の補修 性能の向上) 耐震改修工事(耐震性の向上 他の性能の向上)
技術的限界		
参考資料	技術情報	
	価格情報	